

2016年11月5日

各教会・伝道所御中

日本アライアンス教団
理事長 田中 忍
伝道部長 後藤一都

「熊本地震災害支援献金の報告とお願い」

主の御名を崇めます。

2016年4月に熊本並びに大分、九州全域に起きた大地震に対して、教団理事会は、「九州キリスト災害支援センター」の働きを支援するため、また、教団の支援活動のために伝道部が献金をお願いいたしました。その結果、多くの教会より、支援献金を教団事務局までお送り下さいましたことを、深く感謝いたします。

本支援献金は下記の表に示していますように、「九州キリスト災害支援センター」の働きのため、また、永井一匡師、高橋清師、高橋初美師によるボランティア活動費として用いさせて頂きましたことをご報告いたします。

今後の献金については個教会ごとに九州キリスト災害支援センターへ直接おささげください。また、ボランティアなどの相談については永井一匡師へお問い合わせください。さらに、詳しい活動内容や今後の取り組みについては、別紙、永井一匡師の「報告とお願い」文章をご覧ください。引き続き、皆様のお祈りとご支援を宜しくお願い致します。

熊本地震災害支援献金 会計報告

収入		支出	
支援献金	1,494,768	支援ボランティア活動費	50,000
		九州キリスト災害支援センターへ (7月19日送金)	500,000
		九州キリスト災害支援センターへ (10月31日送金)	944,480
		手数料	288
合計	1,494,768	合計	1,494,768

熊本地震被災地支援活動のご報告とお願い

2016年10月25日

日本アライアンス教団大分キリスト教会
牧師 永井一匡

主の御名を讃美いたします。

熊本地震に際し、九州キリスト災害支援センター（九キ災）、および、同センター大分支部の活動のために、お祈りとご支援をいただきありがとうございます。

現地では、揺れこそ収まってきましたが、損壊家屋の解体に時間がかかっており、すべての解体が終わるのには、まだ1年以上かかるようです。そのため、被災者の方々の生活再建の見通しはなかなかたちません。ボランティアのニーズも、増えこそすれ、減ることはありません。先日、10月21日（木）には、九キ災の熊本ボランティアベースを益城町に移転し、長期支援体制の整えを進めています。

震災から半年が過ぎた今、教団各教会の皆様へ、お祈りとご支援への感謝として、これまでの活動の報告をさせていただきます。つきましては、どうか、今後の活動のためのお祈りと支援をいただけますようお願いいたします。

1. 九州キリスト災害支援センター

- ・熊本の教役者会が、震災直後から避難所支援をはじめたことを知り、九州全県の教会で、熊本の教会の支援活動を支えるため九州キリスト災害支援センターを立ち上げました。

<活動指針>

- ①. 九州全県の教会で、熊本の教会の支援活動を支えるまた、支援を全国、全世界に呼びかける。
- ②. 今後、九州のどこの県で災害があっても、全県で協力する
- ③. 被災した教会の支援。支援を受けた教会が地域を支援する。
- ④. 行政、企業などの支援の及ばない被災者の方たちを支援する。
- ⑤. 支援活動の中で直接伝道は行わない。

<活動内容>

- ①. 祈り
- ②. 支援物資配布
- ③. ボランティア派遣（片付けなど一般活動、看護・大工など専門活動）
- ④. 被災教会への義援金の配布
- ⑤. 子どもスマイル（被災地の子どもたちを元気づける活動）
- ⑥. チャリティーコンサート（主催、受け入れ）
- ⑦. 支援活動のための各種研修会の開催
- ⑧. 被災地教会牧師セルフケアセミナー
- ⑨. 仮設住宅支援活動

<今後のビジョン>

- ①. 全国の教会の災害支援ネットワークと連携する。広域ネットワークのモデルとなる
- ②. 九州各県に支部を立ち上げ、ネットワークを作り、学び合う
- ③. 東北と連携し、今後、東海・東南海・南海地震が起きた時、東北、九州が支援の拠点となれるように
- ④. 九州宣教ネットワークの構築（災害支援だけに終わらず、宣教協力のネットワークに発展させる）

2. 九州キリスト災害支援センター大分支部

<活動内容>

- ①. 大分、阿蘇の教会の被災状況の調査、支援（4月）。
- ②. 阿蘇バーベキュー炊き出し支援（5月連休）
- ③. 子ども支援 人形劇（協力：三原キリスト教会高橋清師、初美師：6月：皆様の献金からご支援いただきました）
- ④. チャリティーコンサート（7月）
- ⑤. 韓国短期宣教青年たちと支援活動（倒壊家屋の片付け：9月）
- ⑥. 仮設住宅支援活動（阿蘇、南阿蘇、西原村：11月～予定）

3. 災害支援活動と伝道について

- ①九キ災では、支援活動において、直接的伝道はしないようにしていますが、イエス様の愛をもって、いたみの中にある方に寄り添う愛の業をさせていただいているという思いで活動しています。そうした現地ボランティアの方々の活動は、すでに実を結ぶものとなり、イエス様の愛を受け取った地域の未信者の方が、現地教会に足を運ぶことも起き、洗礼者も与えられています。
- ②こうした災害支援における支援活動という事態は、今後、日本で、直接、間接的に、頻繁に起きるものと考えられます。そうした場合の、直接的支援活動の在り方、また、それを支えるネットワークの在り方など、今回の熊本地震に伴う九キ災の支援活動から多くの事を教えられています。

4. お願い

*日本アライアンス教団の諸教会の皆様にはお願いです。

上記の指針、ビジョンを持って取り組んでおります九キ災の活動にご賛同いただき、引き続き、
1) 祈り、2) 献金、3) ボランティアのご支援をお願いします。

*なお、献金のご支援については、9月までは、各教会の献金を、教団が取りまとめて送金していただきましたが、今後は、同封の九キ災ニュースにあります献金送付先に直接送金していただきますようお願いいたします。

*ボランティアについては、ツアーを組んで皆様に呼びかけることはできませんが、皆様がボランティアに参加する場合、時期、方法、注意点など、どうしたらよいかについてのご相談に応じますので、大分キリスト教会の永井までお問い合わせください。